brand-new SOLUTION

法定開示レポーティング & AI-Ready HCデータ統合

有価証券報告書（有報）のサステナビリティ開示と第三者保証に備え、人的資本（Human Capital）データをAI-Ready化

人的資本（Human Capital）および経理データをCHROFY独自の標準フォーマットに統合して、有報や主な法改正に基づく法定開示要件を満たしつつ、役員会への報告や投資家から評価される統合報告書を作成するための情報武装に備えるレポートを作成します。

機関投資家が最も注視する「サステナビリティ」の中でも人的資本に関するディスクロージャー。単に法定基準を満たすか、株価を押し上げる攻めのストーリーを描けるか ―― それがCFOやCHROの皆さまの腕の見せどころです。

財務部門・IR部門・人事部門に共通する盲点があります。以下の点について、貴社はいくつ該当しますか？

3つのブラインドスポット BLIND SPOT

BLIND SPOT 01

「有報記載の第三者保証」に対応？

有報サステナビリティ情報は2028年3月期から企業規模に応じて「第三者保証」が義務化される予定です。大半の企業はデータリネージ（集計プロセスやロジック、正確性の根拠等の証左）を用意できていません。

BLIND SPOT 02

「人事データは整備済み」は誤解？

経営者の8割が「人事データは整備できている」と捉えている一方で、**人事担当者の半数は「整備されていない」**と感じています。人事データの把握は、特定の個人による職人技が担っているケースが大半です。

BLIND SPOT 03

「AIで今のデータを分析」は困難？

人事データをAIで分析するには、システム毎にバラバラなデータをつなぎ、人と組織の実態が見える時系列のデータが必要です。そのため、人的資本データをAI-Readyにするためのデータ整備は不可欠です。

ご利用の流れ SERVICE PROCESS

01 ご用意可能なCSVファイルをそのままお預かり（加工は１点のみ、氏名を削除してください）

従業員属性、給与、勤怠などについて、ご用意いただけるCSV形式のファイル（氏名だけは削除してください）を、そのまま専用ストレージ(box)にお預けください。必須項目（約20項目）が含まれれば、ファイル構成に制約はありません。ISO/IEC 27001, ISO/IEC 27017認証のサービスを利用し、IDや生年月日などはハッシュ化・変換して扱います。

02 データ統合はお任せ、AI-Readyなデータアーカイブにご利用いただけます

アップロードいただいたデータをCHROFY標準フォーマットに統合。各種テンプレートで可視化に活用できるとともに、人的資本データのアーカイブとしてAI-Readyな統合データの礎になります。

◆ CHROFY標準フォーマット 統合データ・ファイル（CSVファイルをご納品）

03 法定開示・取締役会用レポートの作成（業界・競合他社ベンチマーク含む）

①有価証券報告書への記載指標を含む法定開示指標、②入退職推移分析、③業界ベンチマーク を含むレポートを作成します。

◆ 法定開示レポート 第1部： エグゼクティブサマリー（PPTファイルをご納品）
第2部： データブック（グラフ等のPDFファイルとCSVファイルをご納品）

価格（税別）

￥500,000～

※ ファイルの数、連結グループ（子会社を含めて）でのご利用などに応じてお見積りをいたします。

法定開示の実務負担を下げながら、IRの質を劇的に引き上げます。
貴社のデータがどのような価値に生まれ変わるか― 是非お問合せください。

お問い合わせは こちら

サービスの概要は こちら

CHROFY(クロフィー)株式会社 サービスサイト: https://www.chrofy.co.jp メールでお問合せ: inq@chrofy.co.jp